学校番号	413

平成 31 年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ｂ	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	詳説日本史Ｂ　（日Ｂ３０９）（山川出版社）						
副教材等	図説日本史通覧　（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・日本の歴史をふりかえり、そこから現代社会の諸課題について主体的に考える。
・さまざまな資料から、有用な情報を読み取り思考する力を身につける。
・現在自身が暮らす地域や、異文化の歴史・文化を学び、理解し尊重する態度を大事にする。

2　学習の到達目標

私たちが暮らす日本の歴史の展開を諸資料に基づき、地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、日本の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる人間としての自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	日本の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、地域社会や異文化の歴史・文化を尊重し、国際社会に生きる人間として主体的に考察しようとする。	現代日本の諸課題を歴史的観点から考察し、社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	日本の歴史に関する諸資料から有用な情報を活用して探求し、自身の考えを論述したり、図表にまとめたりしている。	日本の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	ワークシート レポート 授業態度	定期考査 ワークシート レポート	ワークシート レポート	定期考査 ワークシート レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	日本文化のあけぼの	・文化の始まり ・農耕社会の成立 ・古墳とヤマト政権	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	 ○	a:自然環境の変化や大陸との影響に着目して、時代ごとの社会や文化の特色をとらえることができる。 b: 社会の変化の過程を東アジア世界との交流と関連付けて考察する。 c:考古資料や文献資料から、客観的な情報を読み取ることができる。 d:国家形成にいたるまでの基本的な知識を身につけ、過程を理解する。	ワークシート レポート 授業態度
	律令国家の形成	・飛鳥の朝廷 ・律令国家への道 ・平城京の時代 ・天平文化 ・平安王朝の形成	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a: 律令国家が形成されるまでの過程と地方支配の動揺について多角的・多面的にとらえて考察している。 b: 政権運営や文化の形成について、仏教の受容や大陸との交流を踏まえて考察している。 c: 文献資料から、政治抗争の進展と土地制度の変容を読み取ることができる d: 律令に基づく政治体制・諸制度、時代ごとの仏教文化の特色について基本的な知識をみにつけ、理解する。	ワークシート レポート 授業態度
	貴族政治と国風文化	・摂関政治 ・国風文化 ・地方政治の展開と武士	○ ○	○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	a: 国際関係の変化や律令体制の変容、荘園の発達を踏まえて、政治体制や武士の進出過程について考察している。 b:藤原氏の権力掌握過程と武士の反乱や成長について客観的にとらえ思考している。 c: 文献資料を活用し、地方支配の状況を客観的に読み取る。 d:貴族中心の政治・社会の仕組みと地方社会、貴族の生活・文化を理解する。	定期考査 ワークシート レポート 授業態度

	中世社会の成立	・院政と平氏の台頭 ・鎌倉幕府の成立 ・武士の社会 ・蒙古襲来と幕府の衰退	○ ○	○ ○ ○ 	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a: 政治の動向、国際関係・経済・文化へのときの政権の対応をふまえて、武家政権の成立と武家社会の変容について考察している。 b: 武家政権の成立過程とその変容について、社会の変化を踏まえ客観的に把握している。 c: 絵画資料や文献資料を読解し、武士の生活や土地支配をめぐる地頭と荘園領主との紛争を読み取る。 d:院政の政治構造、封建制度、武家政権の成立過程とその変容、当時の文化について基本的な知識を身につけ、理解する。	ワークシート レポート 授業態度
	武家社会の成長	・室町幕府の成立 ・幕府の衰退と庶民の台頭 ・室町文化 ・戦国大名の登場	 ○ ○ 	○ ○ ○ ○	 ○ ○ 	○ ○ ○ ○	a:庶民文芸の流行、公家の地方下向による中央と地方の文化的交流の活発化を踏まえて、現代につながる地域文化の特色についても考察している b:南北朝の動乱、室町幕府の成立から、応仁の乱、戦国大名の登場にいたるまでの過程について、社会の変容を踏まえて考察している。 c: 文献資料・絵画資料から、東アジア世界との貿易や一揆の発生などが幕府や日本社会に与えた影響を読み取る。 d: 東アジア世界との交流、諸産業の発達による中世社会の多様な展開について幅広く理解する。	定期考査 ワークシート レポート 授業態度

2学期	幕藩体制の確立	・織豊政権 ・桃山文化 ・幕藩体制の成立 ・幕藩社会の構造	○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○	a:ヨーロッパや東アジアなど国際社会の中の日本、また幕藩体制の確立期の経済・社会を兵農分離や村落・都市支配などの観点から、多面的・多角的に考察する。 b:ヨーロッパ・東アジアの動向、兵農分離策などを踏まえ、織豊政権の統一・幕藩体制の成立過程を筋道だてて考察する。 c:文献・絵画資料から、諸制度や政策の内容・意図を読み取る。 d:天下統一に向けての事業・政策、桃山文化の特色、幕藩体制の構造について基本的な知識を身につけ、理解する。	ワークシート レポート 授業態度
	幕藩体制の展開	・幕政の安定 ・経済の発展 ・元禄文化	○ 	○ ○ 	○ ○	○ ○ ○	a:幕政の安定期について、諸産業・経済の発展やその社会的役割を踏まえ、平和と秩序の確立の視点で考察する。 b:文治政治への転換と元禄時代の文化について、背景にある社会の変化と関連付けて思考している。 c: 文献・絵画資料、地理的資料から、政策の意図・内容、また諸産業の発達・経済の発達を読み取る。 d:安定期の政策、経済の発展と諸産業・経済の発達について理解する	ワークシート レポート 授業態度

	幕藩体制の動揺	・幕政の改革 ・宝暦・天明期の文化 ・幕府の衰退と近代への道 ・化政文化	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○	a: 幕藩体制の動揺する中の諸改革と近代化の基盤の形成について、産業経済面や軍事面などに着目して、雄藩の浮上という地方からの視点から考察する。 b: 列強の接近に伴うさまざまな事象、三大改革、田沼の政策から幕府の衰退と雄藩の出現過程を筋道立てて思考している。 c: 文献資料、絵画資料、地理的資料から、幕府・諸般の政策の意図・内容、生活・文化の新たな展開を読み取る。 d:改革の内容とその影響、列強への対応、新たな思想・学問などについて客観的に理解する。	定期考査 ワークシート レポート 授業態度
	近代国家の成立	・開国と幕末の動乱 ・明治維新と富国強兵 ・立憲国家の成立と日清戦争 ・日露戦争と国際関係 ・近代産業の発展 ・近代文化の発達	 ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a: 東アジアをめぐる国際環境の変容を踏まえて明治政府の近代国家基盤形成と新たな国民の対外意識の変化について多面的・多角的に考察する。また産業の発展にともなう労働問題や社会運動の高まり、公害事件について関心を持ち政府の対応に着目している。 b:近代国家の基盤が形成されていく過程、開戦に至る過程について国際情勢を踏まえて考察する。 c: 文献資料、絵画資料から、政府の政策の内容とその意図、当時の社会の様子などを読み取る。 d:国際社会の動向と関連付けて、明治の日本の政治・社会・経済について客観的に理解している。	ワークシート レポート 授業態度

	二つの世界大戦とアジア	・第一次世界大戦と日本 ・ワシントン体制	○ ○	○ ○	 ○	○ ○	a:国際社会における日本の動向やアジアにおける民族運動の高揚、国内の社会運動について関心を持ち、関連する現代の諸課題についても考察している。 b: 欧米からアジアに至るまで広い範囲の国際環境の推移に着目し、政府の国内・対外政策について公正に捉え考察している。 c:文献資料・地理的資料から当時の国際情勢と日本政府の政策の内容を読み取る。 d:国際情勢と日本の動向、社会運動について客観的に理解し知識を身につけている。	定期考査 ワークシート レポート 授業態度
3学期		・市民生活の変容と大衆文化 ・恐慌の時代 ・軍部の台頭 ・第二次世界大戦	○ ○	○ ○ ○ ○	 ○	○ ○ ○ ○	a: 第二次世界大戦について、国家間の相違や総力戦の特色を踏まえ、この戦争が空前の惨禍をもたらした点に着目して、平和で民主的な国際社会の実現に努める重要性を認識している。 b:日本の対外政策や軍部の台頭・第二次大戦に至る過程について、日本を取り巻く国際環境の変化と国内の経済などの時代背景に着目し、客観的に考察している。 c:文献資料・地理的資料から当時の国際情勢と日本政府の客観的に読み取る。 d:恐慌や大戦に関する事象について基本的な知識を身につけ、客観的に理解している。	ワークシート レポート 授業態度

	占領下の日本	・占領と改革 ・冷戦の開始と講和	○ ○	○ ○	○	○ ○	a: 連合国による日本占領の終結と、その後の日米関係の継続について、様々な国の立場から考察する。また、現代でもとりあげられる日本国憲法に関するさまざまな議論を意識し、日本国憲法制定の意義について考察している。 b: 戦後の世界秩序・東アジア情勢の変化を踏まえ、占領政策及び戦後の民主化政策とそれに伴う諸改革と講和について客観的に考察する。 c: 文献資料からその内容と意図を読み取る。 d:占領政策や冷戦と講和に関して客観的に捉え理解する。	ワークシート レポート 授業態度
	高度成長の時代	・55 年体制 ・経済復興から高度成長へ	○	○	○	○	a: 現代でも大きくとりあげられる沖縄をめぐる問題や公害問題などの社会問題に関心をもち、その歴史的経緯について考察している。 b:政治・外交、高度成長と生活の変化について、国際社会の動向や経済発展の要因に着目し、考察する。 c:文献資料からその内容と意図を読み取る。 d:政治・経済の諸事象について客観的に捉え理解する。	ワークシート レポート 授業態度
	激動する世界と日本	・経済大国への道 ・冷戦の終結と日本社会の動揺	○ ○	○ ○		○	a:科学技術・産業の発達によって派生する環境問題やエネルギー問題などの日本の課題とそれに対する日本の役割を認識する。 b: 高度成長の終焉と経済大国への過程、冷戦体制の終結とそれに関わる国内の状況について、日本の政治・外交・経済・生活文化面を踏まえて多面的・多角的に考察する。 d:経済や国内の政治・外交について、客観的に捉え理解する。	ワークシート 最終レポート 授業態度

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。